

感 染 症 週 報

島しょ保健所八丈出張所管内感染症発生動向調査

管内 第14週

(4月1日 ~ 4月7日)

東京都感染症週報 より抜粋

第13週

(3月25日 ~ 3月31日)

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/>

東京都インフルエンザ情報

第29号



東京都島しょ保健所八丈出張所

〒100-1511

東京都八丈島八丈町三根1950番地2

TEL : 04996 - 2 - 1291

FAX : 04996 - 2 - 0632

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/hachijou/index.html>

感染症週報

八丈出張所管内の感染症流行情報

(八丈町・青ヶ島村)

第14週(4/1～4/7)八丈出張所管内COVID-19 5件 インフルエンザ 2件(成人を除く)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(成人を除く) 1件

新型コロナウイルス感染症にご注意ください！

八丈出張所管内では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の報告が5件(前週10件)ありました。東京都のCOVID-19(13週3/25～3/31)定点当たりの患者報告数は3.48人で先週より増加しています。全国のCOVID-19の定点当たりの患者報告数は5.10人と減少がみられます。

東京都ではインフルエンザ注意報継続中です！

東京都の定点医療機関のインフルエンザ患者報告数は、13週で3,903人、定点当たり9.40人(前週11.48人)と定点あたりの患者報告数が「流行基準である10.00人」を下回りましたが、保健所管内の人口の割合の合計40.38%と注意基準の30%を上回っており、注意報レベルが継続しています。全国における定点医療機関からの患者報告者数は55,189人、定点当たり11.18人と減少傾向がみられます。

ひとくち感染症情報 「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)は、急激かつ劇的な病状の進行を特徴とする致死率の高い感染症です。STSSは昨年、全国で報告された患者数が過去最多でした。更に今年は13週(3/25～3/31)で、すでに596人の患者報告数があり、過去最多となった昨年同時期に比べて約3倍に増加しています。更に東京都の発表でも今年は13週で年間累計94件(昨年の13週30件)報告されていることもあり、島しょ地域でも注意が必要です。

1 劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、レンサ球菌による感染症です。通常は、レンサ球菌に感染しても無症候のことも多く、ほとんどは咽頭炎や皮膚の感染症にとどまります。しかし、稀に通常は細菌が存在しない組織(血液、筋肉、肺など)にレンサ球菌が侵入し、急激に症状が進行する重篤な疾患となることがあります。小児が多く罹患するA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは区別されます。

2 原因と感染経路

上気道感染や創傷感染等がありますが、感染経路が不明な場合も多くあります。

3 症状

初期症状としては、発熱や悪寒などの風邪様の症状、四肢の疼痛や腫脹、創部の発赤などが見られます。発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的で、筋肉周辺組織の壊死を起こしたり、血圧低下や多臓器不全からショック状態に陥り、発病後数十時間で死に至ることも少なくありません。

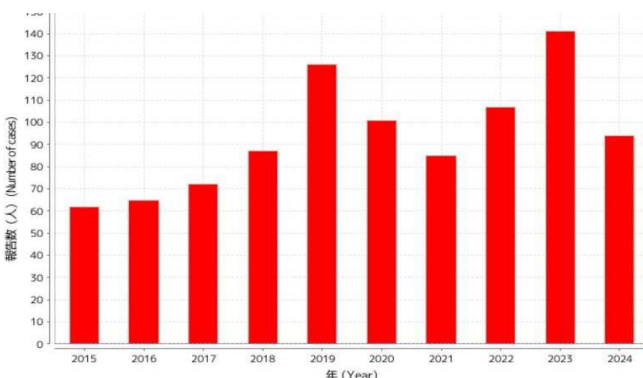
4 治療

集中管理のもと、抗菌剤による治療が行われます。筋膜炎の場合は、壊死を起こしている部分を切除し感染の拡大を防ぎます。重症化のリスクを下げるためには、早期に治療を開始することが重要です。

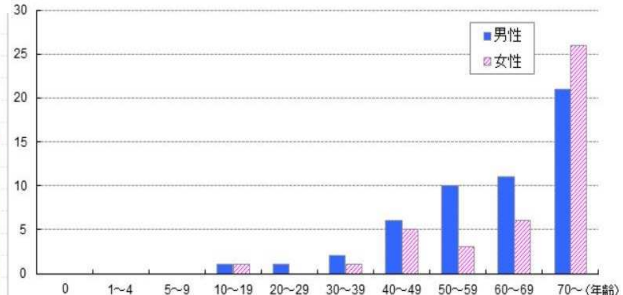
5 予防のポイント

傷を清潔に保ち、創部の発赤や腫脹、痛み、発熱など、感染の兆候が見られた場合には、直ちに医療機関を受診して下さい。

東京都の過去10年間のSTSSの年別報告数の推移



STSS年齢別・性別報告数2024年1週～13週 累計94人



出典: 東京都感染症情報センター
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/s-group-a/>

八丈出張所管内患者報告数 推移グラフ (No.3) 令和6年第14週

